

広島大学

平成 31 年度一般入試(前期日程)・
私費外国人留学生入試 2 月実施

解答例

科目名:

国語総合(近代以降の文章)・現代文 B

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

第一問

問一 a 崩壊（潰） b 猶予 c 考（講・攻）究 d 徐々（に） e 示唆

問二 学校は社会のなかにあるにすぎない

問三 子供の自発性を手助けする（十二字）

問四 1 人々の共有作法（七字）

2 宗教や哲学や政治に関する人々の共有作法にどのような歩みがあったか考える学問（三十七字）

問五 知育でも体育でもそれを担う教師の「人格的な姿」が生徒・学生の人格形成に影響を与えるから。

問六 人間にとって重要なのは活力でありその重要な部分は人格だがそれを教えるという意味での

教育は不可能である一方で、教師が自分の生き方を示す教育でのみ可能であること。（七十九字）

問七 論が展開する度に逆接を繰り返すことによって、教育が持つ矛盾を様々な論点から考えようとする筆者

の思考に読者を誘い、読者に深く考えさせようとする特徴がある。（七十六字）

第二問

問一 日向子との年齢差を実感していなかったため、年齢差を指摘されて驚いた。

問二 作並と母は、目の前の風景に過去を見る種類の人であると信じていたから。

問三 過去と現在が断絶していると確信する日向子にとって、思い出をなぞる事で未来を作っていく事が衝撃的だったから。

問四 二人は、子

問五 作並が少年の頃と変わらぬ気持ちを母に向けていることを知り、自分が大人だと主張する作並を否定しなくなった。

問六 作並を「おやじ」と実感した時、日向子は「涙」が止まらなくなった。この事実が、作並を「いとoshii」と思う気持ちに気づかせ、そのまま泣き続けたことで、日向子はその気持ちを受け入れられる様になった。

第三問

問一 オレンジ色のワンピースを着た小さな女の子が、姿形も分からなくなるほど、瞬く間に駆けていった様子。

問二 筆者にとって、この母親の言葉は、それまで抱いていた母親像を覆すほどのあまりに意外な内容だったから。

問三 1 行動を許可して危険や恐怖を現実のものとして具体的にイメージさせた方が、かえって抑止力を持つとわかったから。
2 深謀遠慮

問四 イ

問五 それまで当然と思われてきた親子関係は、実は互いにそうふるまっているにすぎず、容易に交代できる関係だということを端的に示す意図。

問六 二つの路上の光景が、親が子供を叱る方法という共通点で結びつき、時間や空間、性別の違いを包括した普遍的なパターンであることを伝える効果。